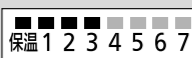





設置後の確認/トップレートのシーリング

必ずトップレート周囲をシーリングする前に確認する

付属部品の取付け	●テーブルタイプはフィルターを付ける ●キッチンタイプはフィルターを外す	<input type="checkbox"/>
外観	●トップレートが汚れていないこと ●トップレートが浮いていないこと	<input type="checkbox"/>
電気工事	<KZ-F12B・F12BL> 単相200Vになっていること ※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに異常表示をします。  (保温～火力3が順次点灯)	単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。
	<KZ-F11B> 単相100Vになっていること	<input type="checkbox"/>
	アースが設置されていること	<input type="checkbox"/>
	漏電遮断器が設置されていること	<input type="checkbox"/>
配線処理	電源コード・操作部コードが固定されていること	<input type="checkbox"/>

作動	1 電源スイッチを入れる → 電源ランプが点灯する	<input type="checkbox"/>
	2  を押し、作動を確認する ●必ず水を入れ、IHに対応した鉄鍋などを置く。(空だきしない) ※鍋を置かないと「鍋なし自動OFF」が働いて約1分後に自動的に通電を停止します。 ※  で操作した場合、次のようになりますが、異常ではありません。 ●鍋が熱くなるまで時間がかかる ●「火力3と6」が交互に点滅し通電を停止する → しばらくすると湯が沸く 表示の点滅は再度  を押すと消えます。	<input type="checkbox"/>

- 電気試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
- 取扱説明書・設置説明書・プリセット操作ガイド・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了
確認者印

トップレートをシーリングする

- 作動確認後、天板とトップレートのすき間を埋めるためにシリコン系シーリング剤（コニシボンドのシリコークなど）でシーリングしてください。

パナソニック株式会社 キッチンアプライアンス事業部

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2008

ZY16-6057
S090817095

設置説明書 IHクッキングヒーター

品番 **KZ-F12B**
KZ-F12BL
(200V)
KZ-F11B
(100V)

設置される方へ

- 品番をよくご確認のうえ、設置してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ガス機器から付け替える場合

ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは、法令により規制されています。

事前にガス事業者へ連絡してください。また、閉栓はガス業者に依頼してください。

- キッチンの下部にオープンレンジを設置しないでください。
- 設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

もくじ

安全上のご注意

2

設置の前に

- 設置場所の確認
- 専用回路・漏電遮断器の設置
- コンセントの設置

3

外形寸法図

4

本体の設置

- 同梱部品の確認

6

操作部ユニットの取り付け

- 天板への取り付け
- 側板への取り付け

8

次のような場合は…

- トップレートが天板上面から飛び出すように固定する場合
- キッチンに設置する場合

10

設置後の確認/ トップレートのシーリング

裏表紙



操作部コードの長さは
KZ-F11B/F12B ……0.8m
KZ-F12BL ……………2m

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分して説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---------------------------------	--

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。
--------------	------------------

警告

<p> ●設置は、「設置説明書」に従って確実に行う 設置に不備があると、漏電・火災の原因。</p> <p>●電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う 接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因。</p> <p>●漏電遮断器を設置する</p> <p>●専用回路を設置する (KZ-F12B・F12BL) 200V・15A以上 (KZ-F11B) 100V・15A以上 この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因。</p> <p>●アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う</p> <p>●アースを確実に取り付ける 漏電すると、感電の原因。</p>	<p> ●絶対に分解・修理・改造は行わない 火災・感電・けがの原因。 ・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど</p> <p>●トッププレートに衝撃を加えない 上に乗ったり、物を落とさない 万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因。</p> <p>●試運転中は、トッププレートなど高温部に触れない やけどの原因。</p>
--	--

注意

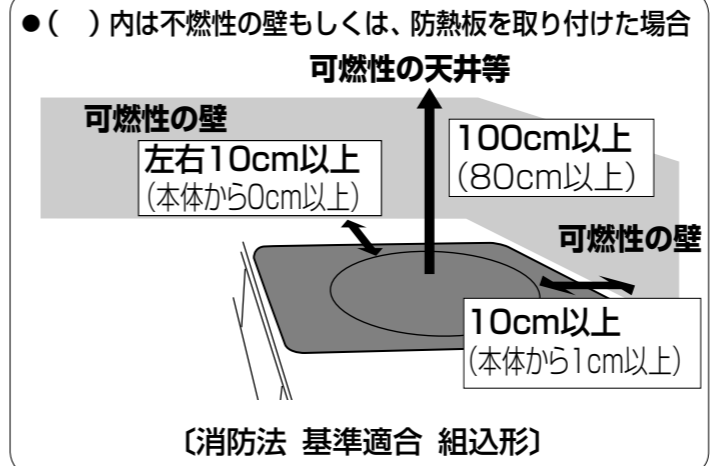
<p> 天板は、耐熱材料を使う 熱硬化性樹脂化粧板 (JIS K 6903) またはこれと同等以上の物 耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因。 ※ニス引きのものは変色するため使わない。</p>
--

設置の前に

設置場所の確認

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

■周囲が可燃性の壁 (防火構造壁以外) の場合

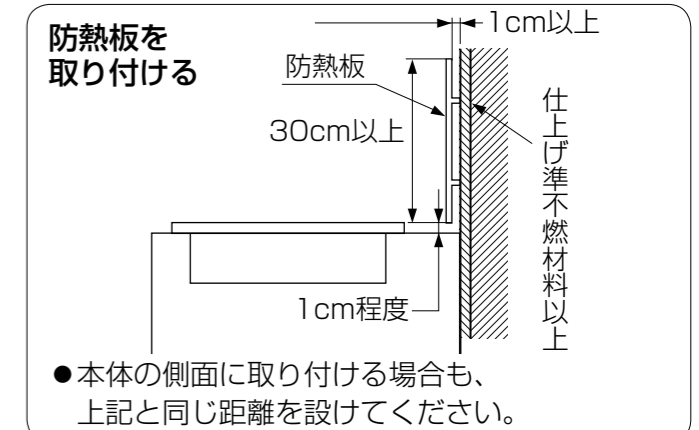


●天板よりトッププレートを落とし込む場合も同様に対応してください。



●キッチンの金属部が、建造物の壁中の金属 (メタルラスなど) に触れないようにしてください。
(電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています。)

■可燃性の壁から左記の距離を離せない場合



専用回路・漏電遮断器の設置

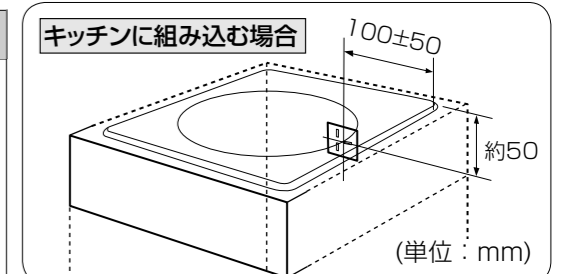
専用回路		KZ-F12B/F12BL	KZ-F11B
		単相 200V・15A (ブレーカー付き)	単相 100V・15A (ブレーカー付き)
屋内配線用電線	埋込型コンセント	単線直径 2.0mm	
	露出型コンセント	単線直径 2.0mm より線の場合……2mm ² または 3.5mm ²	
漏電遮断器	推奨漏電遮断器 <パナソニック(株)製>	品番: BJS2022N 定格電流: 20A 感度電流: 15mA	品番: BJS2021N または BJS2022N 定格電流: 20A 感度電流: 15mA

●三相200V (動力電源) は使わない。(故障の原因)

コンセントの設置

■D種接地工事を必ず行う (コンセントの一極接地用に配線する)

推奨コンセントの種類 <パナソニック(株)製>	KZ-F12B/F12BL	KZ-F11B
	品番: WK3012 (露出型) WN1112K (埋込型) 定格: 単相 250V・15A (接地2P)	品番: WKS214 (露出型) :WN1101 (埋込型) 定格: 単相 125V・15A アース付き(接地2P)



●電源コードがよじれたり、負担がかからないようにコンセントの向きに注意してください。

安全上のご注意

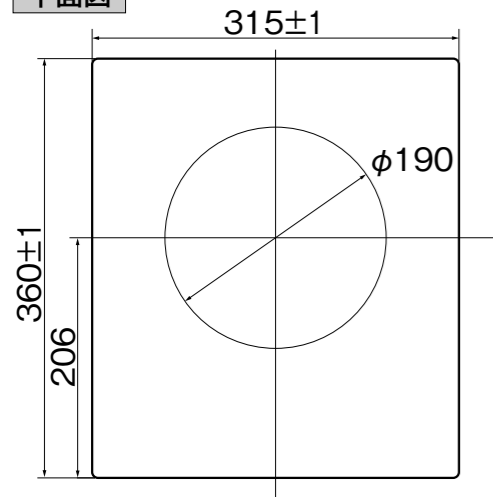
設置の前に

外形寸法図

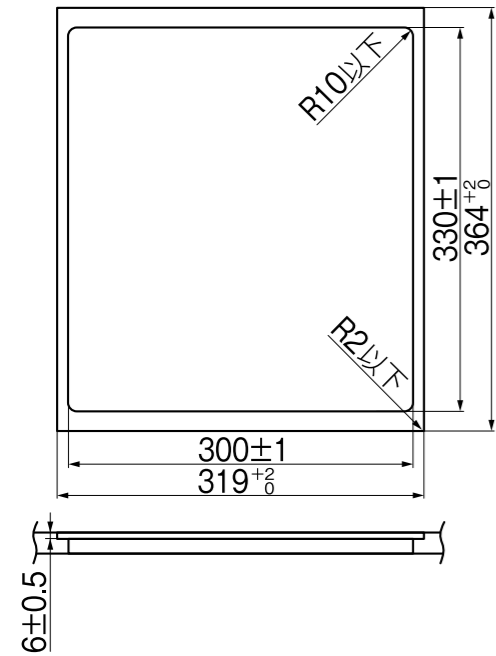
■本体寸法図 (単位: mm)

●イラストはフィルターが付いた状態のものです。

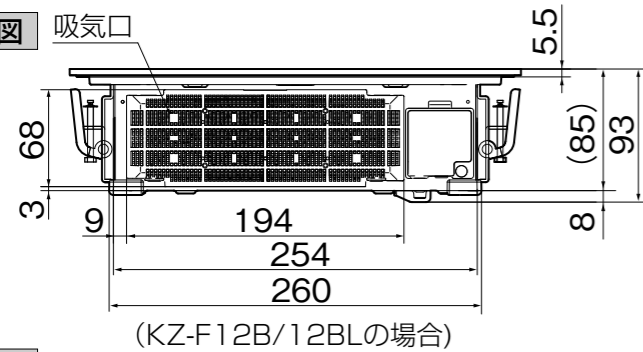
平面図



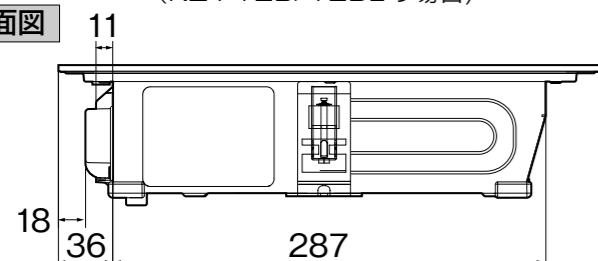
天板開口穴



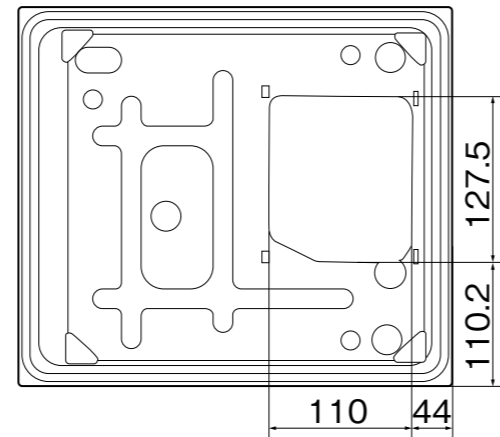
正面図



側面図

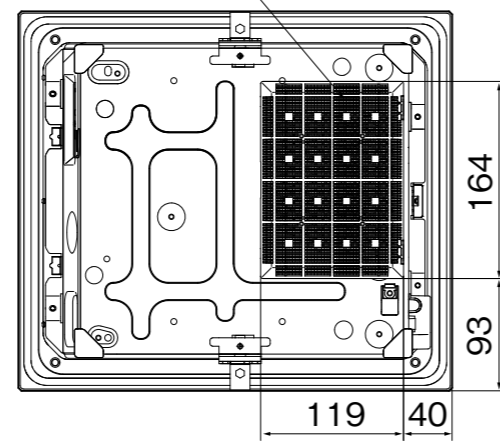


底面図



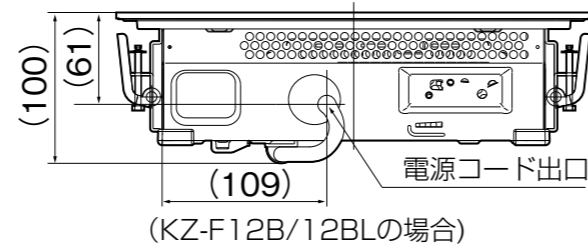
(KZ-F12B/12BLの場合)

吸気口

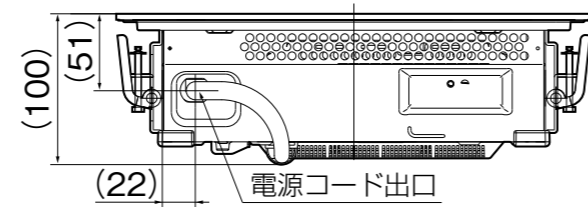


(KZ-F11Bの場合)

背面図



(KZ-F12B/12BLの場合)

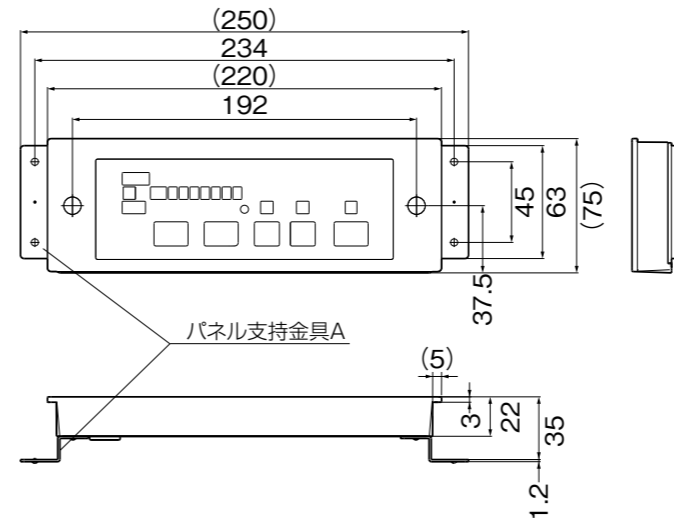


(KZ-F11Bの場合)

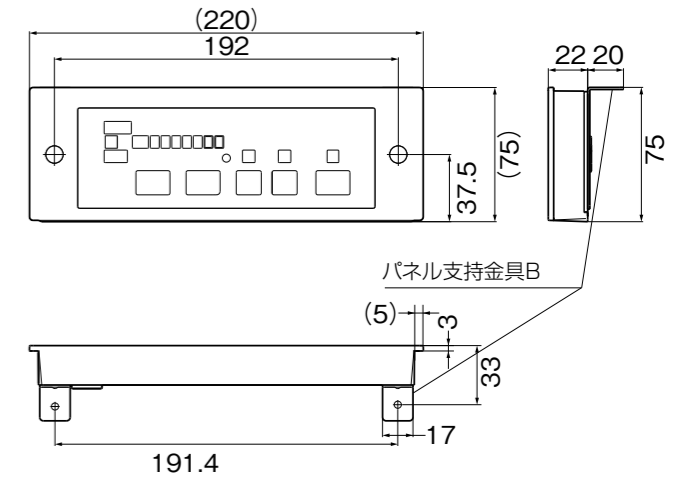
■操作部寸法図 (単位: mm)

平面図

〈天板に取り付ける場合 (8ページ)〉

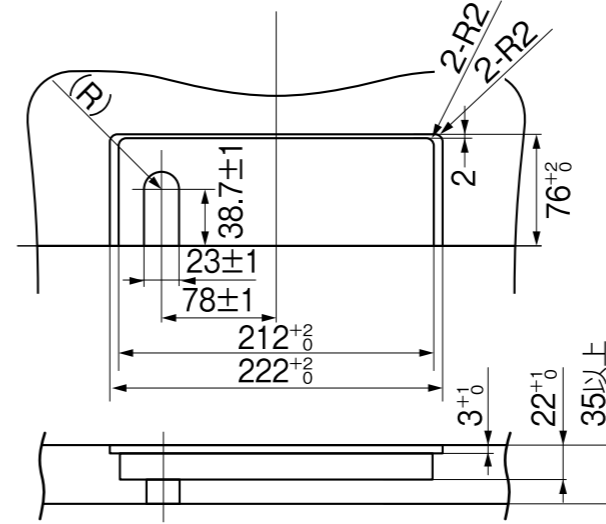


〈側板に取り付ける場合 (9ページ)〉

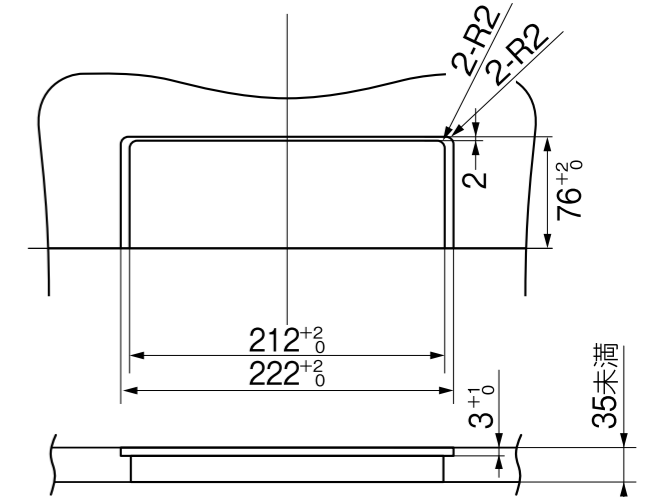


操作部開口穴

〈天板・側板の厚さが35mm以上の場合〉



〈天板・側板の厚さが35mm未満の場合〉

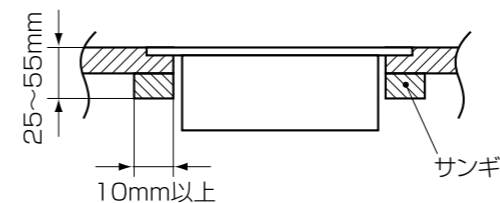


天板について

■十分な強度の天板を使う

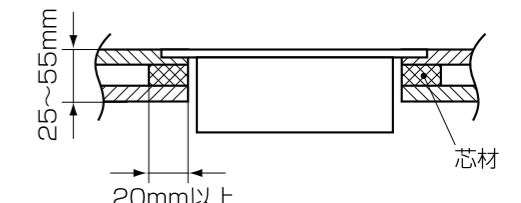
●木材などに落とし込む場合

- 天板の厚さが薄い場合はサンギ等で補強する



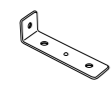

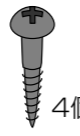
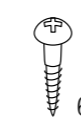

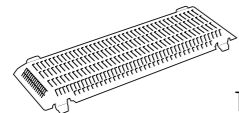
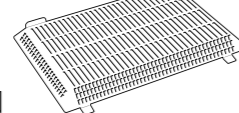
●フラッシュ構造 (中空) に落とし込む場合

- 必ず本体を支える位置に芯材がくるようにする。



本体の設置

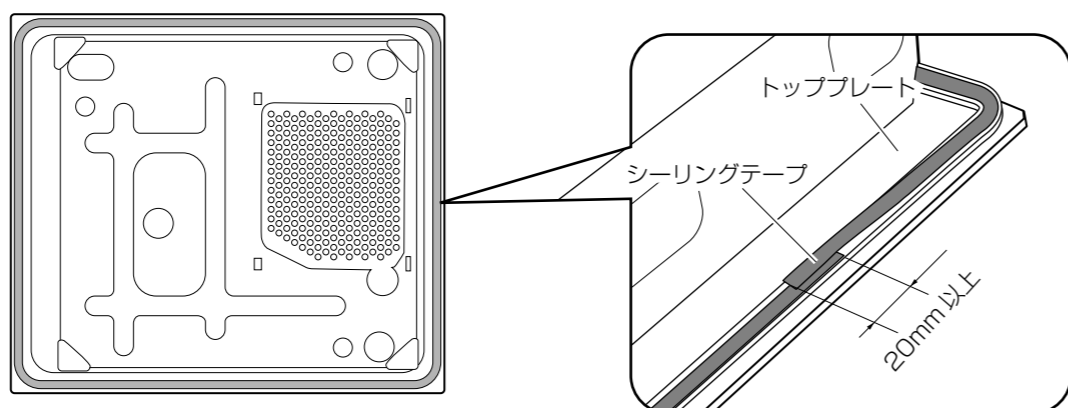
同梱部品の確認

完成固定金具	パネル支持金具A	パネル支持金具B	シーリングテープ	ねじキャップ	丸木ねじ1	丸木ねじ2	なべPタイトねじ
							
2個	2個	2個	1本	2個	4個 φ3.5×16	6個 φ3.1×13	4個 M4×8
ナイロンクリップ	フィルター(天板設置用)		なべタツタイトねじ				
	〈KZ-F12B・F12BL〉	〈KZ-F11B〉					
6個			2個 M4×10				

1 シーリングテープを貼って、防水処理を施す

本体裏面

※イラストは
KZ-F11B



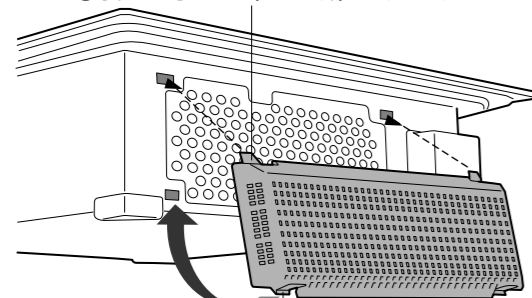
※テープの重なり代は
約20mm以上設けてください。

- テープの裏紙をはがして、トッププレート裏面の周囲に合わせて貼り付ける。

2 吸気口にフィルターを取り付ける (テーブルに設置する場合のみ)

〈KZ-F12B・F12BL〉

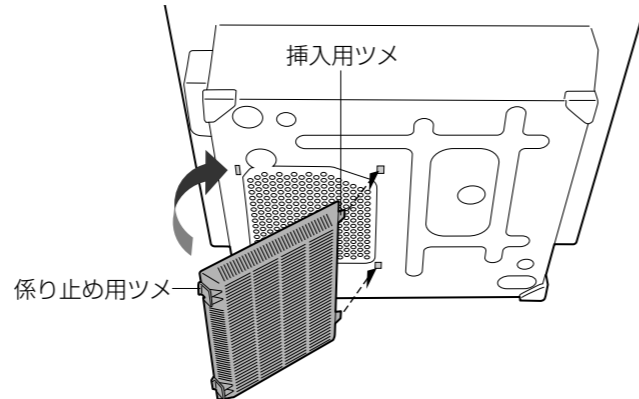
- ①挿入用ツメ(2か所)を差し込む。



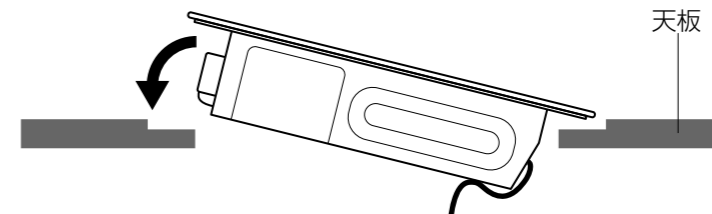
- ②係り止めツメ(2か所)で固定する。

〈KZ-F11B〉

- 左図と同様に取り付ける



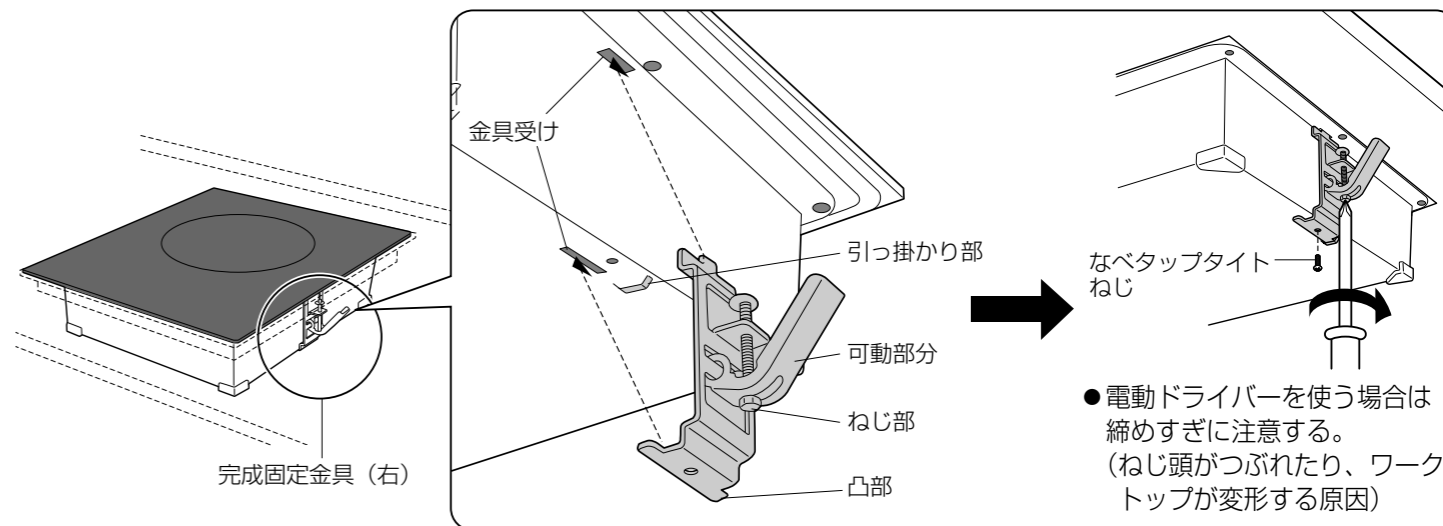
3 トッププレートを天板の落とし込み部分にはめ込む



- 天板に傷を付けないように包装用の段ボール箱を敷く。
- 本体底面と天板の間に、電源コードを挟まない。(本体が浮いたり、コードが傷む原因)
- 天板とトッププレートのすき間が均一になるよう設置する(作動確認後、トッププレート周囲をシーリングします) ※シーリング剤を塗布してから本体に装着すると、トッププレート裏面にシーリング剤がまわり、修理時に外せなくなります。

4 本体を完成固定金具(左右2か所)で固定する

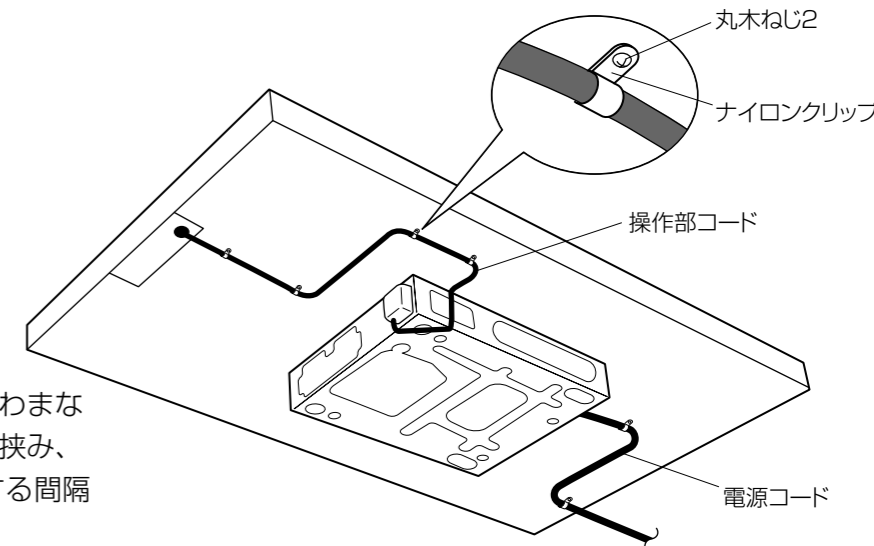
- ①完成固定金具のねじ部を緩め、可動部分を開いた状態にする。
- ②金具受け(2か所)に差し込み、凸部を引っ掛け部にスライドさせて仮止めする。
- ③なべタツタイトねじで完成固定金具を取り付ける。
- ④ねじ部を締めて可動部分を天板に固定する。



本体の設置

5 配線进行处理する

- 電源コード・操作部コードがたわまないように、ナイロンクリップで挟み、丸木ねじ2で固定する。(固定する間隔の目安は、約50cm)

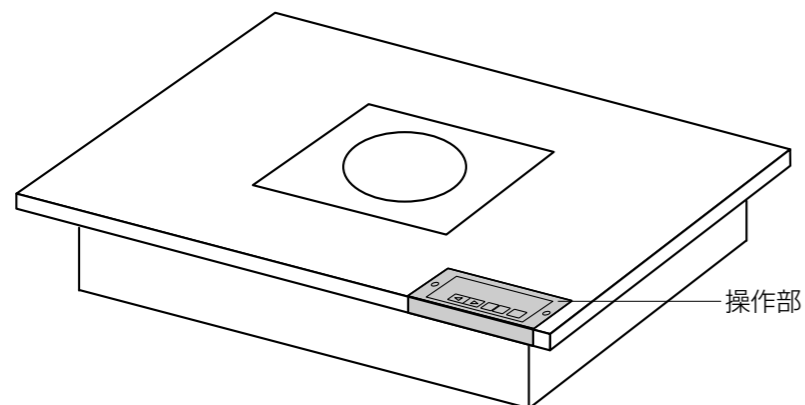


7

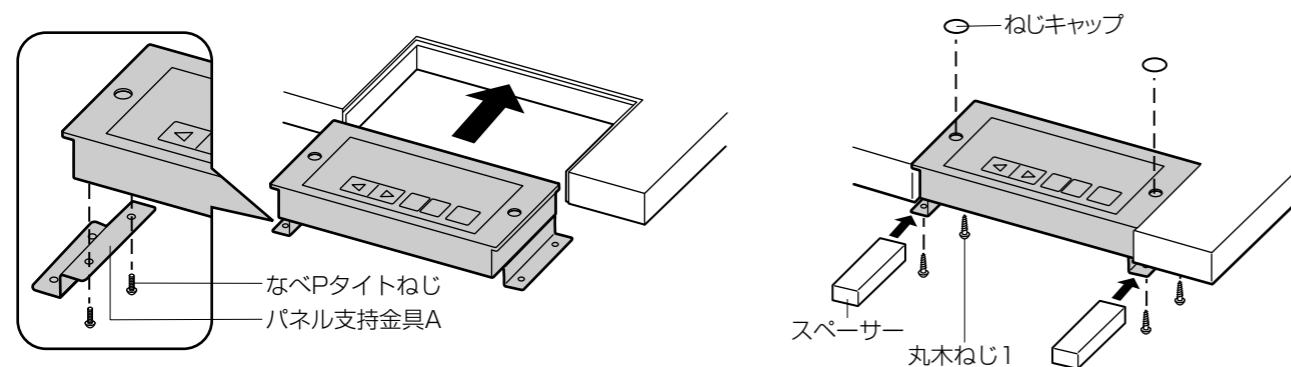
操作部ユニットの取り付け

■操作部ユニットは天板または側板に取り付けることができます⇒板の厚さにより、下の方法で固定してください。

天板への取り付け



板の厚さが35mm未満のとき

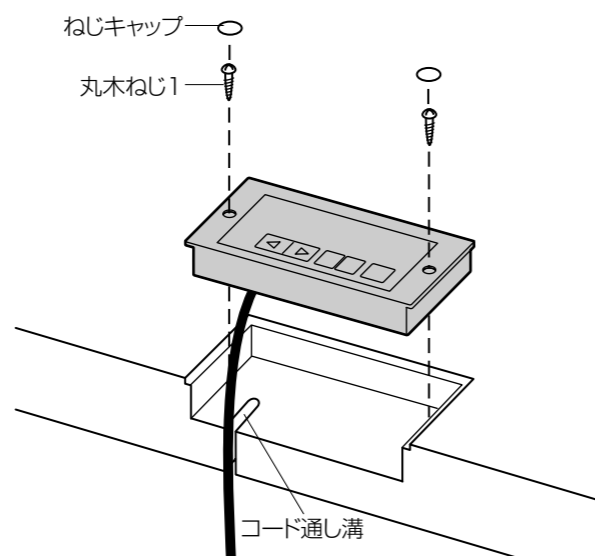


- ①天板に操作部開口穴を設ける。(5ページ)
- ②操作部にパネル支持金具AをなべPタイトねじで取り付け。(左右4か所)
- ③操作部を天板にはめる。
- ④パネル支持金具Aと天板下面のすき間にスペーサー(板など)を挟んで、高さを調節し、丸木ねじ1で天板に固定する。(4か所)
- ⑤操作部表面のねじ穴にねじキャップをかぶせる。(2か所)

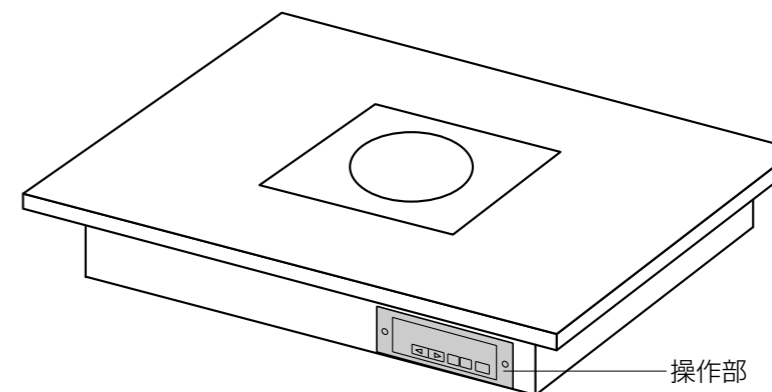
板の厚さが35mm以上のとき

- ①天板に操作部開口穴を設ける。(5ページ)
- ②操作部コードをコード通し溝に通す。
- ③左右2か所を丸木ねじ1で固定しねじキャップをかぶせる。(2か所)

※なべPタイトねじ(4個)は使いません。
丸木ねじ1は2個余ります。



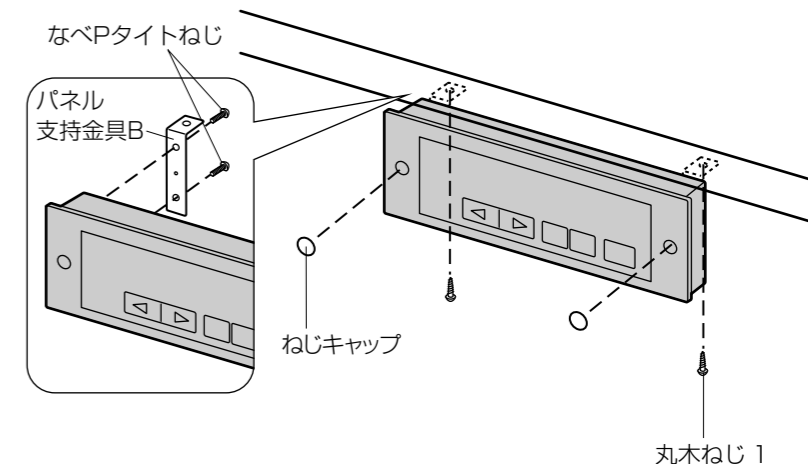
側板への取り付け



側板がないとき

- ①操作部にパネル支持金具BをなべPタイトねじで取り付け。(左右4か所)
- ②操作部を天板の裏面に丸木ねじ1で固定する。(2か所)
- ③操作部表面のねじ穴にねじキャップをかぶせる。(2か所)

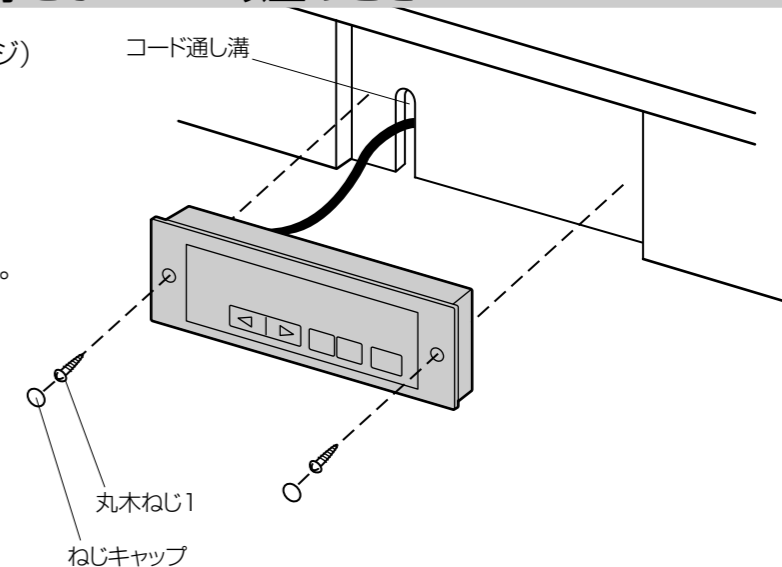
※丸木ねじ1は2個余ります。



板の厚さが35mm以上のとき

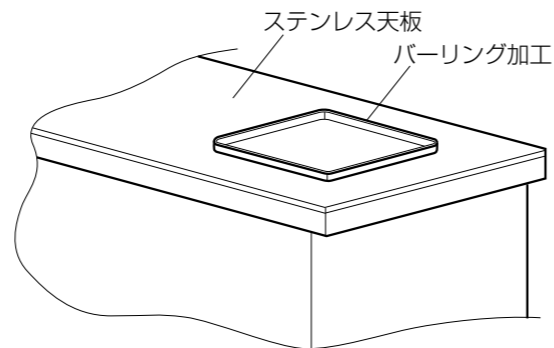
- ①側板に操作部開口穴を設ける。(5ページ)
- ②操作部コードをコード通し溝に通す。
- ③左右2か所を丸木ねじ1で固定しねじキャップをかぶせる。(2か所)

※なべPタイトねじ(4個)は使いません。
丸木ねじ1は2個余ります。



次のような場合は…

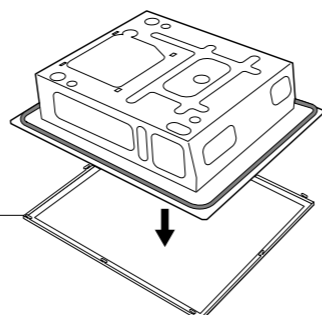
※バーリング加工を施したキッチン開口部には設置できません。



トッププレートが天板上面から飛び出すように固定する場合

トッププレートを保護するために、必ずプレート枠（あっせん品）を取り付けてください
 (この場合の天板の厚みは、20~50mmにしてください)

プレート枠
 品番：KZ-20



- 詳細はプレート枠添付の説明書をご覧ください。
- プレート枠はお買い求め先へお問い合わせください。

キッチンに設置する場合

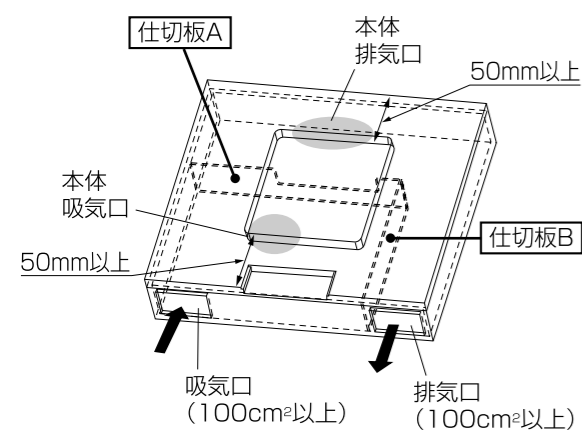
必ず仕切板を設置する

(本体内部の温度が上昇して、安全装置が働き、加熱を停止したり、故障の原因となります)

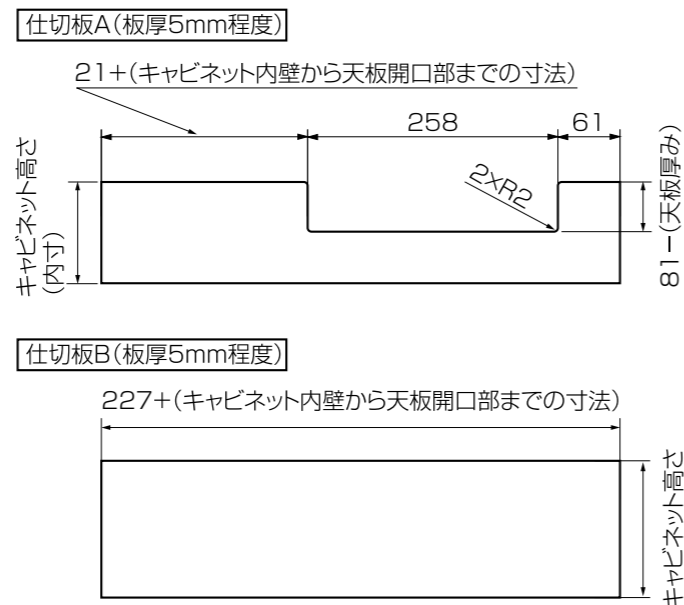
- キッチンに有効断面積100cm²以上の吸・排気口を設ける。
 (ルーバー等の場合は、空間部分の合計で算出)
- 本体の吸気・排気を遮へいしないように、本体の吸・排気口からは50mm以上のスペースを確保する。

■前吸気・前排気にするには

- L字型に仕切って、吸・排気を分離する。



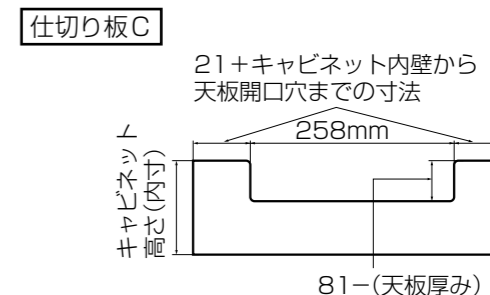
■仕切板の形状



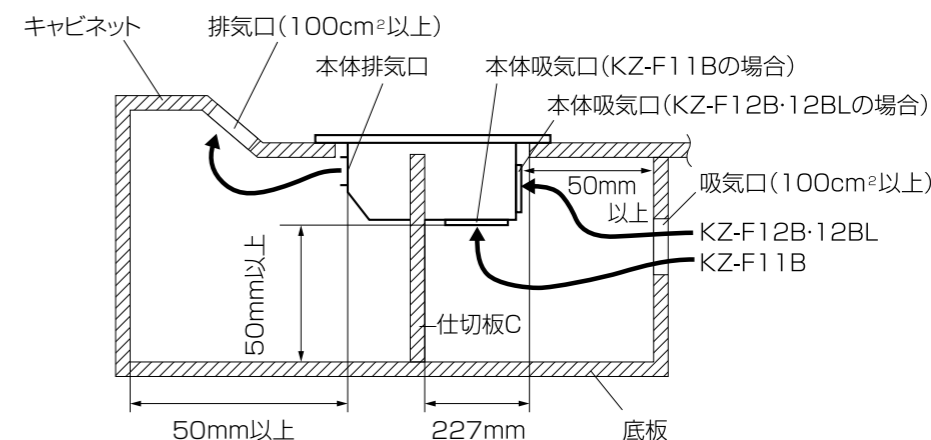
■前吸気・後排気にするには

- 本体修理時に備えて、底板は取り外し可能にしてください。

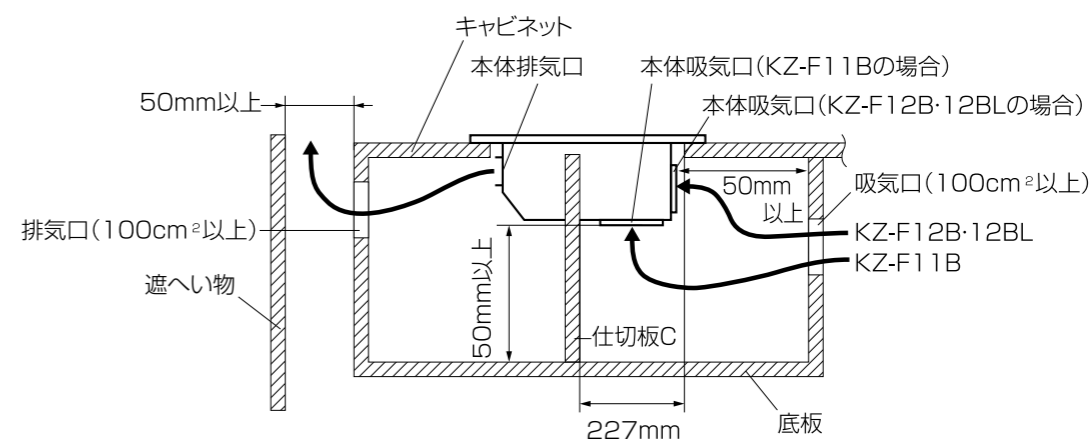
■仕切板の形状 (正面から見た図)



●キッチン天面に排気口を設ける場合



●キッチン後面に排気口を設ける場合

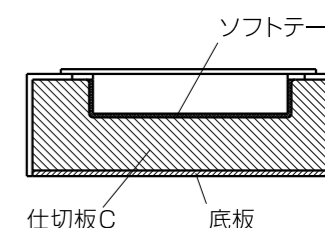


仕切板のすきま処理

■仕切板のすき間処理

〔例〕 本体と仕切板Cの隙間を市販のソフトテープ(発泡ウレタン等)で埋める。

本体後面から見た図



次のような場合は…